

マタイ 34

私たちのために 主イエスが 捨てられたこと

マタイ福音書13章44～58節

宝・真珠・地引き網のたとえ

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

- I. 畑の宝・海の真珠のたとえ 13:44～46
- II. 地引き網のたとえ 13:47～50
- III. 倉の主人のたとえ 13:51～52
- IV. 故郷の人々の不信仰 13:53～58
- V. まとめと適用

私たちのため

主イエスが捨てられたこと



からし・マスタード



0. イントロダクション

カペナウムの再現図

メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル
(指導者)

① 観察

② 審問

③ 審判

ベルゼブル論争

バプテスマ
荒野の誘惑
弟子の召命
宣教開始
メシア的奇跡
安息日論争

たとい話
五千人の食事
ペトロの信仰告白
山上の変容
最後の弟子訓練
エルサレム入城
最後の晩餐

紀元70年
エルサレム陥落



メシアの活動は、弟子訓練に移行!!

■ イスラエルに公式に拒絶された後、
メシアの活動の中心は、大衆伝道から**弟子訓練**へ
→ 対象は、イエスをメシアと信じる者たち

■ 教えの中心は、メシアの解説が必要な**たとえ話**
→ たとえ話のテーマは、「**奥義としての神の国**」

神の国とは？ メシア拒絶以前

①永遠の王国 普遍的王国

②霊的な王国 (真の信者たち)

モーセ～ゼデキヤ
③神政政治の王国

⑤メシア的王国・千年王国

イスラエルが約束のメシアを受け入れれば、神の国が、地上に実現されるはずだった。

【地上での神の国】

神の国とは？ メシア拒絶以後

①永遠の王国 普遍的王国

②霊的な王国 (真の信者たち)

⑤千年王国

新天
新地

【地上での神の国】

モーセ～ゼデキヤ

③神政政治の王国



④奥義としての王国

たとえを用いた弟子訓練の意味すること

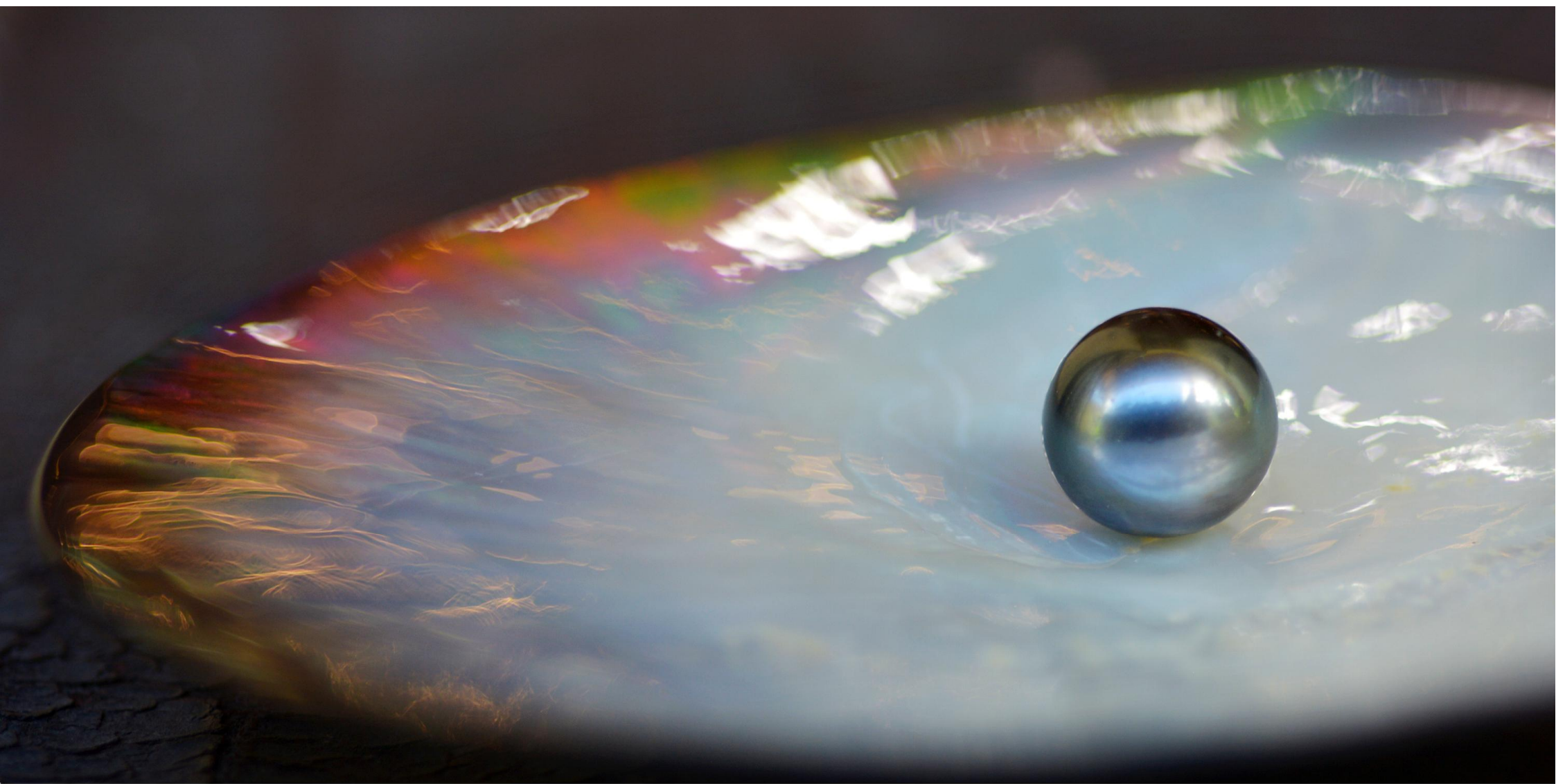
■メシア拒絶の時から浮かび上がった「奥義としての王国」

➡その中心は、「教会時代」

■教会は、

- ❶弟子たちが選抜された時に種が蒔かれ、
- ❷メシアの拒絶後の弟子訓練の間に、発芽の準備をし、
- ❸聖霊降臨の時に、芽吹いた。

弟子訓練から、教会誕生の下準備がなされていく!!



Ⅰ. 畑の宝・海の真珠のたとえ

マタイ福音書13章44～46節

本編

畑に隠された宝 マタイ13:44

天の御国は畑に隠された宝のようなものです。その**宝***を見つけた人は、それをそのまま隠しておきます。そして喜びのあまり、行って、持っている物すべてを売り払い、その畑を買います。

*主に聞き従う真のイスラエル

「出19:5 今、もしあなたがたが確かにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはあらゆる民族の中であって、わたしの**宝**となる。(シナイ山での主の命令)」



本編

よい真珠 マタイ13:45～46

天の御国はまた、良い真珠*を探している商人のようなものです。

高価な真珠を一つ見つけた商人は、行って、持っていた物すべてを売り払い、それを買います。

*イスラエルへは、異邦人の地から輸入
ペルシャ湾のバーレーン諸島が一大産地

■海にある真珠 ➡ 異邦人世界の中の信仰者

■イスラエル12部族は、12の宝石に象徴
➡ 真珠は含まれてない!!



畑の宝・海の真珠のたとえ

たとえ	意味
畑の宝	メシアを信じる 真のイスラエル
海の真珠	メシアを信じる 異邦人の信仰者
すべてを売り払った人	命を捨てて救われる メシア

■ メシアは、命をすてて、信じる者を救われる。

➡ 真実の信仰者は、神の宝、神の真珠。

この時代にあっては、希少な存在。



Ⅱ. 地引き網のたとえ

マタイ福音書13:47～50

本編 底引き網 マタイ13:47～48

また、**天の御国**は、海に投げ入れてあらゆる種類の魚を集める網*のようなものです。

網がいっぱいになると、人々はそれを岸に引き上げ、座って、良いものは入れ物に入れ、悪いものは外に投げ捨てます。

*地引き網…引きあげた後により分けが必要

■ 地上の教会には、信者も偽信者も
寄り集められる。

➡ 世の終わりの時に選別と裁きが!!



本編

世の終わり マタイ13:49～50

この世の終わりにもそのようになります。
御使いたちが来て、正しい者たちの中から
悪い者どもをより分け、**火の燃える炉***に
投げ込みます。彼らはそこで泣いて歯ぎし
りするのです。

＊永遠の火の池・ゲヘナ、いわゆる地獄

■繰り返される、世の終わりの裁きの宣告

➡メシア自身が、最も多く言及!!



地引き網のたとえ

たとえ	意味
網	地上の教会
よいもの	真の信者
わるいもの	偽りの信者

- 地上の教会には、真の信者も偽りの信者も集められる。
世の終わりに、神の国とゲヘナにより分けられる。



Ⅲ. 倉の主人のたとえ

マタイ福音書13章51～52節

ガリラヤ湖

本編

倉の主人 マタイ13:51～52

あなたがたは、これらのことがみな分かりましたか。」彼らは「はい」と言った。

そこでイエスは言われた。「こういうわけで、**天の御国**の弟子となった学者*はみな、自分の倉*から新しい物*と古い物*を取り出す、一家の主人のようです。」

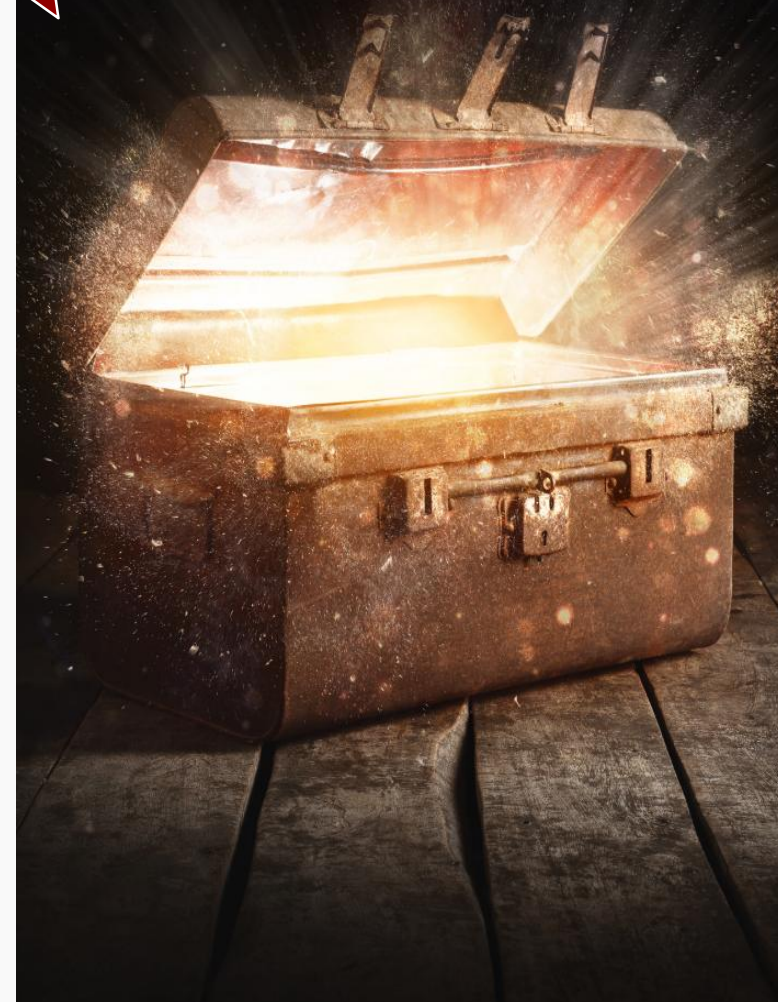
＊新約聖書を記した弟子たちがまさにそう!!

＊宝箱(マタイ2:11…東方の博士からの)

＊教会時代のメシアの教え(キリストの律法)

＊律法時代の教え

弟子たちは理解!!





IV. 故郷の人々の不信仰

マタイ福音書13章53～58節

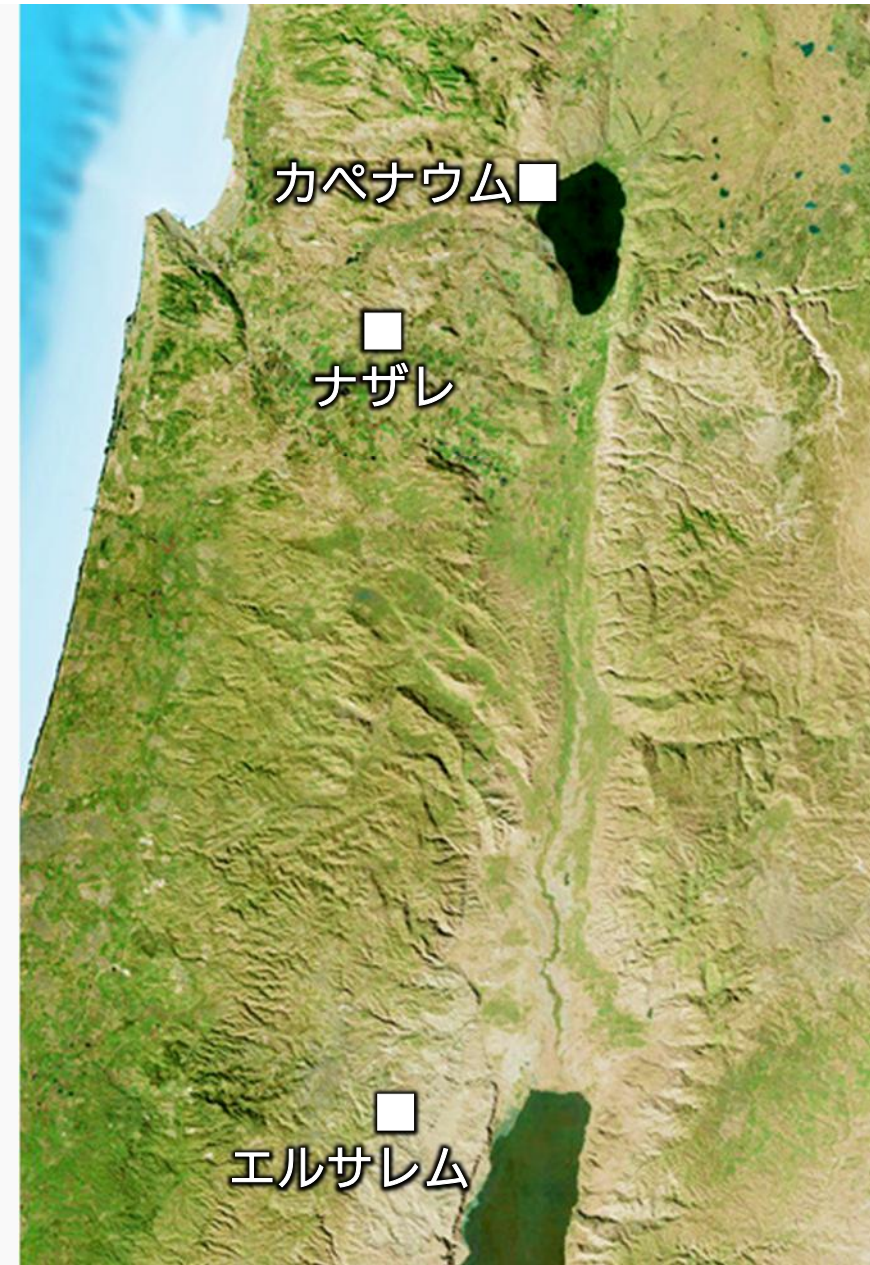
ナザレから臨むイスラエル平原

本編

ナザレで マタイ13:53～54a

イエスはこれらのたとえを話し終わると、そこを立ち去り、**ご自分の郷里***に行って、会堂で人々を教え始められた。

＊ナザレ …カペナウムからは約50km



本編

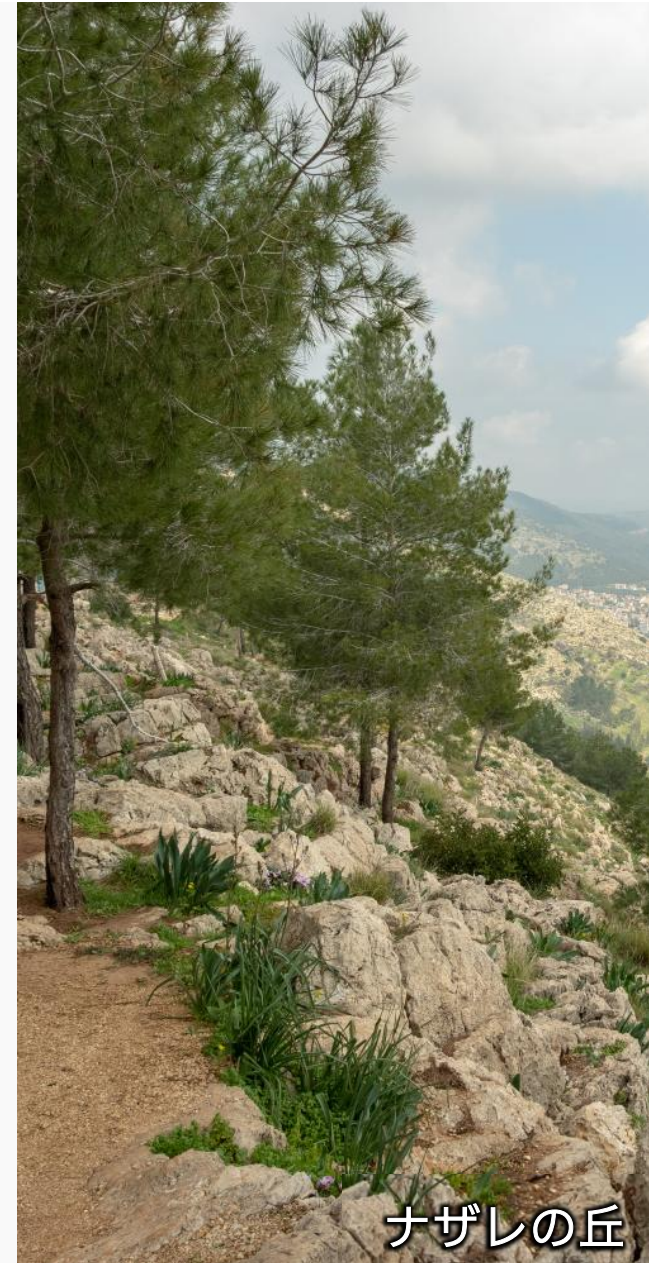
人々の驚き マタイ13:54b～56

すると、彼らは驚いて言った。「この人は、こんな知恵と奇跡を行う力をどこから得たのだろう*。

この人は大工の息子ではないか。母はマリアといい、弟たちはヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダ*ではないか。妹たちもみな私たちと一緒にいるではないか。それなら、この人はこれらのものをみな、どこから得たのだろう。」

*「大工の息子に過ぎないイエスが、正統な手段で、こんな知恵と力を得るわけがない」

*ヨセフとマリアの間に生まれた弟たち



本編 人々のつまずき マタイ13:57～58

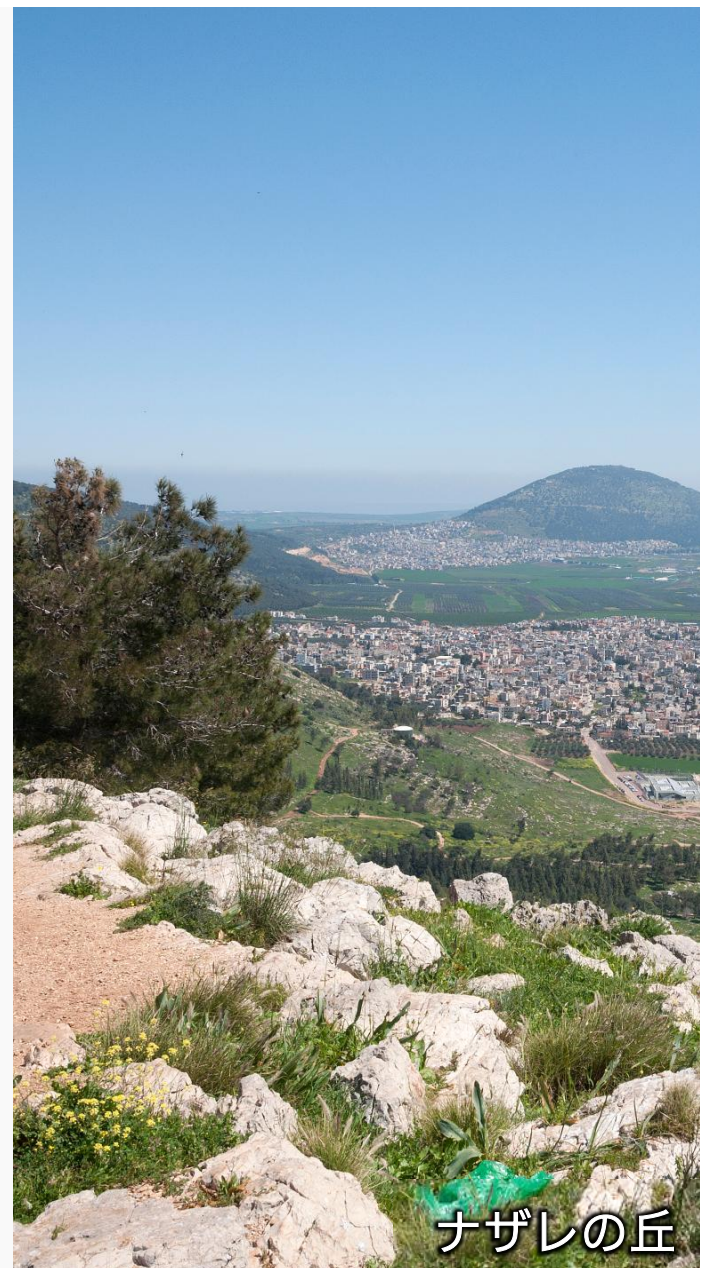
こうして彼らはイエスにつまずいた。しかし、イエスは彼らに言われた。「預言者が敬われないのは、自分の郷里、家族の間だけです」

そして彼らの不信仰のゆえに、そこでは多くの奇跡をなさらなかった。

■ 議会の決定は、故郷にも影響を及ぼしていた。

■ ナザレでの拒絶は、イスラエル全体からの拒絶を投影。突き落とされそうに(ルカ4:29)

➡ メシアは歴代の預言者以上の拒絶を!!



ナザレの丘



V. まとめと適用 私たちのために主イエスが捨てられたこと

ガリラヤ湖

たとえから浮かび上がる教会時代

- 畑の宝(ユダヤ人信者)も、海の真珠(異邦人信者)も、
真の信者は、教会時代には希少な存在。
- 拡大した教会には、真の信者と偽の信者が混ざり合う。
 - ➡ 両者が区分されるのは、世の終わり
携拳(空中再臨)の時であり、メシア再臨の時

教会に、靈的戦いが絶えることはない!!

恵みの重さを噛みしめよう

- 隠された宝や天然の真珠のように、
世で孤絶した小さな者を救うため、
主イエス・キリストは、すべてを捨てられた。

「キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を空しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ、自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまで従われました。ピリピ2:6～8」

主イエスが私たちのために捨てられたもの

- …世の評判、人々の好意、人間としての命、神としてのあり方、神の子としての地位、栄誉、栄光、父なる神との親密な交わり、神の愛、つまり“すべて”
「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。マタイ27:46」
- 主イエスは、十字架で神の怒りの杯を飲み干され、父なる神の愛から完全に断絶され、見捨てられた。

一人のクリスチャンの死を覚えて

- 32歳の若さで凶弾に倒れた、チャーリー・カーク氏。
大学中退。独学の末、キャンパスを巡り対話を訴えていた。
弾丸には、「ファシスト」と罵倒する刻印が。
 - 二日後、妻エリカ氏が告げた亡き夫の意志。
結婚し、家族を築き、子どもを育む恵みを味わおう。
教会に行こう。
そして何より、キリストの愛を知り、信じて欲しい。
- 「勇気と信仰を持って覚えられたい」 願いは叶えられた。

絶やされることのない聖霊の炎

■ 夫の死が、私に火をつけた、と語ったエリカ氏。
アメリカ各地で、英国で、イスラエルで…、追悼が。
主イエスによる信仰の戦いが、絶やされることはない。

■ 立ち向かうべきは、破滅をもたらす破壊的な闇の力。
握りしめるべきは、人と世界を救う、いのちのことば。

かつてなく世の終わりが近づいていると実感させられる。

世の終わりの信仰の戦い

- 殉教者まで出す状況は、艱難期の反キリストの大迫害を思い起こさせる。まさに終末的な霊的戦いだ。
- 一方、そもそもの根すらない、この日本には、冷たくも熱くもなく、なまぬるい、別な困難がある。このただ中で、世に飲み込まれることなく、主への愛と信仰の熱さを保ち続けるのが、私たちの戦い。

主の御言葉を、聖霊による満たしを求めていこう!!

★ 私たちのために主イエスが捨てられたこと ★

■ 世にあって孤絶し、靈的に死に、滅びに向かうだけの私たちの罪のため、主イエス・キリストは、十字架で死なれ、葬られ、死を打ち破って復活された。

■ あまりにもちっぽけな、私を探し出し、救うために、主イエス・キリストは、神としての地位も栄誉も、父なる神の愛も、命も、すべてを捨てられた。だから…

私のためにすべてを捨ててくださった、
主イエスに答えることが、私のすべて。

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

②墓に葬られ、

③三日目に復活されたこと、を信じます。

主が私を探し出され、すべてを捨てて救い出してくださいました。

私たちのすべては、永遠に主のものです。

どうか、聖霊の炎を、私たちの心に、霊に、灯してください。

主の愛で、私たちの心を燃やし、主の使命に遣わしてください。

感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」